



行谷小学校 学校だより

日本一のトキの学校

トキっ子

第3号 [6月号]



令和2年6月17日発行

シリーズ「新型コロナウイルスに負けるな！」

学校の新しい生活様式 = 感染症対策と健やかな学びの両立 =

新型コロナウイルス感染症の終息を祈る毎日が続いています。

感染者数が減少し、全国的には終息に向かって見えますが、様々な専門家の知見によると、今後も感染者の増加は避けられない見通しのようです。

新型コロナウイルスに対するワクチンがなく、集団免疫を獲得していない現在の状況の中、仕事でもプライベートでも外出する人が増え、感染リスクが高まっています。

PCR検査の対象者の増加により、感染者が続々と判明しているのも事実です。また、感染歴を調べる抗体検査により、プロ野球巨人軍の選手2名が陽性と判明しました。今後、PCR検査や抗体検査が積極的に実施されることにより、無症状者を含めて感染者数は全国で増えていくことが予想されます。

海外でも、感染者や死亡者の増加が続いているにもかかわらず、自国経済が破壊しかねないとの懸念から、ロックダウン（都市封鎖）を緩和している国もあるようです。

このような国内外の感染状況を見据えると、私たちは、これからも新型コロナウイルスが存在する社会の中で生きていかなければなりません。

社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないという認識に立ちつつ、感染症対策と子どもたちの健やかな学びを保障することとの両立を図っていくことが学校運営上の大きな課題です。

学校生活における一番の感染リスクは、休み時間や登下校時など教職員の目が届かない所での子どもたちの行動です。

そこで、今年度、学校生活のスタートから、子どもたちが新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、それを避ける行動ができよう全校体制で指導を徹底してきました。

現在、授業中は、体育の時間を除き、全員マスクを着用して学習しています。

休み時間は、遊びの種類が限定された中ではありますが、晴れた日は外に出て遊ぶ子が増えたり、接触を避けた新しい遊びを考えたりするなど、自ら工夫して活動する子どもたちの姿が見られるようになりました。

給食の前や掃除の後の手洗いはもちろんですが、子どもたちは、朝登校してからすぐに石けんで手を洗います。休み時間の後だけでなく、授業の後、1時間ごとに石けんで手を洗っています。

6月の全校朝会では、このような「学校の新しい生活様式」を振り返り、子どもたちに次のようにエールを送りました。

「学校の新しい生活様式」は、皆さんの命を守る当たり前の生活です。これからも、新型コロナウイルスに負けないように、マスクをすること、外遊び、石けんで手を洗うことを一生懸命がんばってほしいと思います。新型コロナウイルスがなくなるまで、新型コロナウイルスをやっつける薬ができるまで、頑張ってください。

学校では引き続き、「マスクの着用」をはじめ、「石けんによる手洗い」「発声、接触のある活動の制限」などの基本的な感染対策を徹底するとともに、子どもたちの健やかな学びを保障していく教育活動を継続していきます。

引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（校長 笠井 猛雄）